

●代表質問とは？

2人以上所属する“会派”の代表者が、毎年12月定例会と一般選挙後の最初の定例会で行います。(各会派の持ち時間は〔基礎時間40分+(会派所属議員数-1)×5分〕と、その1.5倍の時間を合計したものが各会派の持ち時間となります。)

●会派とは？

市議会の中で、主義、主張等を同じくする議員で構成された団体のこと。1人でも会派を作ることができますが、代表質問をすることはできません。

線楯川線の一日乗り放題券で平出く奈良井を周遊していただいたかどうか。

答 総合的に判断し、一定の方向を早期に出したい。周遊バスの運行は難しい。ほかの交通機関の活用も視点も含め、研究していきたい。

問 生活環境保全林整備事業として整備された、「小曾部清流の森林」を、県が、この10月8日に宣言した「国際青少年交流農村」の拠点とする考えはないか。

答 小曾部の白滝については、環境保全の重要性と合致するものと考えられ、「国際青少年交流農村宣言」に沿った取り組みが可能であるか研究していきたい。

◆専門知識を持つ人材の育成
問 観光・TPP・情報のいずれでも高度な専門知識が必要となる。これらを奨励し、補助し、管理職任命制と結び付け、キャリアアップの動機づけを行っていくべきだと思いませんか。

答 職員にとって必要であるので今後検討していきたい。

新 政 会

質問者 金田 興一
 牧野直樹・金子勝寿
 横沢英一

持ち時間138分

新体育館の建設は市民の目線で

◆新体育館建設の判断は

問 アンケート結果により、市民の声をどのように捉えたか。

答 民意は二つに割れている。12月議会で、疑問点、問題点、進め方等議論の中で一定の方向を見出ししていきたい。

問 建設する場合、しない場合の問題点は。

答 建設費や維持管理費等負担、市民の理解が得られるか。現体育館建設から45年が経過しており、いずれ建て替えの時期が来る。合併特例債が使える最後の機会、建設しないという選択で将来に禍根を残さないか、非常に重い選択。

問 20、30年後の市人口推計は。

答 2035年5万9千500人と推定している。22年度の市年少人口は14

%、平成2年からは4.7%減少。20、30年後にはこの年代が納税者の中心になるが。

答 この皆さんが納税義務者になるので、厳しい税収見込みに直結するものと考ええる。

問 固定資産税、評価替えの24年度と、次回評価替えの27年度の見込み額は。

答 23年度比、24年度は3億円減、27年度同程度減。

問 合併算定替えで、普通交付税が8.3%、4億2千600万円減少見込みに加え、扶助費の増大が見込まれ厳しい財政状況が見込まれるが。

答 市税収の大幅な伸びは想定できず、扶助費の増大、財政需要の拡大が見込まれ財政状況は厳しいものになると予測される。

問 避難施設の要望、建設費の回答者は22・3%と他の設問に比して一番多く、反対26年度以降建設、分らないの回答者にも多くあったが。

答 中長期的に考え各地区に一時避難施設を考えていく。当面、吉田道西に計画。

問 8千200㎡の新体育館建設は、新公会としては消極的にならざるを得ないと考えるが。

答 8千200㎡の新体育館建設は慎重にならざるを得ない。

規模等も含め、大震災の復興状況、経済社会の安定、市政の状況を勘案して決定していきたい。

◆しおじり街元気力カンパニー
問 今後の経営見通しは。

答 古民家再生を実施する為に、具体的計画作り、関係権利者との調整、テナント誘致に着手、えんぱーく1階のショップへのテナント誘致を行っている。

問 振興公社と目的・具体的事業が同一、すみ分けは。

答 公社は都市環境の整備改善や都市機能の向上を目的に設立、まち会社は主に店舗・空きビルを整備、誘致し街なかに商業・サービス機能を再生して活性化することが役割。

◆有害鳥獣被害対策
問 鳥獣の被害が最近増えている。耕作放棄地の拡大、山



表皮被害を受けた樹木の状況